



平賀 譲 Yuzuru HIRAGA

教授 Professor

修士(理学) Master of Science

Keywords: 音楽情報科学、認知科学

Contact: hiraga@slis.tsukuba.ac.jp

Web: www.slis.tsukuba.ac.jp/lspc

IMAGINE THE FUTURE.



筑波大学
University of Tsukuba

Graduate School of Library, Information and Media Studies

研究概要

専門分野は情報科学、認知科学。主な研究内容は、音楽の認知過程についての研究及びそれらを含む、音楽情報科学に関わる各種テーマ（自身の研究とともに、研究室での学生との共同研究を含む）。音楽認知過程の研究は、音楽聴取時（や演奏時）に人間の中で生じている処理を解明しようというもので、大きく分けると心理実験などを用いる心理学的アプローチと、音楽認知過程をコンピュータ上でモデル化・実現しようという計算論的アプローチとからなり、その両面から研究

を行っている。楽曲の分析、とりわけ構造解析も、それら認知過程に対応するものとして密接な関係がある。研究室では特に音楽におけるパターン性に着目し、歌の音韻や旋律構造分析、主題・変奏関係の分析などを進めている。

また最近では楽器音分析の研究にも重点を置いている。これは主として、RWC 楽器音データベースを利用して分析するもので、ピブラート音の特徴など、いくつか興味深い結果が得られている。

www.slis.tsukuba.ac.jp

論文

- 1) 宮澤響、平賀譲：ポピュラー音楽における人間のサビ認識に関する研究。情報処理学会研究報告（音楽情報科学）、Vol.2018-MUS-1178 No. 27 (2018),
- 2) 黒崎友、平賀譲：RWC 楽器音データベースを利用したピブラート音の複数楽器にわたる比較分析。情報処理学会研究報告（音楽情報科学）、Vol.2017-MUS-117, No. 2 (2017),
- 3) 平賀譲：音楽における構文性とパターン性。2015 年度人工知能学会全国大会論文集，2C5-OS-21b-5 (2015).
- 4) 平賀譲、下峯ゆり：楽曲の主題・変奏関係の構造解析手法の検討。情報処理学会研究報告（音楽情報科学）、Vol.2010-MUS-85, No. 5 (2010),
- 5) 平賀譲：音楽理論の諸相－伝統的音楽理論と認知的音楽理論。情報処理，Vol.49, No.8, pp.993－1000 (2008).

社会貢献活動

ここ数年は役職などの関係で、研究活動とともに学会活動からも遠ざかっていた。過去には関連する学会・研究会等の役員などをいろいろ務めてきている（例えば認知科学会、日本音楽知覚認知学会、情報処理学会・音楽情報科学研究会等の運営委員・主査等、10th ICMPC (2008) Co-organizer、他）。

メッセージ

音楽は人間の普遍的な活動であり、その意味で根源的な認知能力に根差していると考えられる。したがって音楽の認知過程の研究は単に一認知部門の研究に留まらず、より広範に、人間の認知能力を理解し、解明することに寄与すると期待できる。音楽認知の研究は、これまでは自然言語理解、音声認識、画像認識など、先行する諸分野の研究の後塵を拝してきたが、音楽研究の側からそれら他分野の研究に寄与し、さらには先導していくような貢献を目指したい。

関連情報サイト

- 1) <http://www.sigmus.jp/>
- 2) <http://jsmpc.org/>
- 3) <http://www.jcss.gr.jp/>